

# 日本子ども家庭福祉学会通信

## 第51号

2025年3月発行

Japanese Society for the Study of Child and Family Welfare

No.51

### 日本子ども家庭福祉学会 第26回全国大会のお知らせ

大会テーマ：「子ども【家庭】福祉」から「子ども【社会】福祉」へ

日時：2025年6月7日(土)・8日(日)

会場：大阪公立大学なかもずキャンパス（大阪府堺市中区学園町1-1）

6/7(土) …Uホール白鷺 6/8(日) …B3棟

これまでの「子ども家庭福祉」では、子どもの権利条約にある「子どもには家庭が必要」との考え方のもと、子どもと「家庭」という枠組みの中でとらえ、親・家庭の養育力を向上させるような「家庭/家族支援」を重視する傾向にありました。

しかし、これからは、子育ての責任を家庭や親だけに強く求めるだけでなく、地域や社会全体で子どもを支え、子どもの主体性や人権・権利を尊重し育ていくことができるように、という視点からの制度政策、実践、研究が求められているといえます。

そこで、今大会では、本学会の名称にもなっている「子ども家庭福祉」を改めて再考するという意味を込めて「子ども【家庭】福祉から、子ども【社会】福祉へ」とのテーマを掲げました。子どもにとっての親・家族のありようだけにとどまらず、社会の一員である私たち一人ひとりが、子どものためにすべきことは何か、一緒に考えてみたいと思います。

#### 【スケジュール】

6月7日(土) …Uホール白鷺

13:00-13:30 通常総会

13:30-13:40 開会式

13:50-15:10 基調講演&パネルディスカッション「誰一人取り残さない子ども家庭福祉への挑戦」

基調講演「誰一人取り残さない子ども家庭福祉への挑戦」13:50-14:30(40分間)

山野 則子 氏(大阪公立大学 教授)

14:40-15:35 パネルディスカッション

パネリスト 猪俣 健一 氏(阪南市社会福祉協議会事務局次長)

四柳 千夏子 氏(三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員)

コメンテーター 山野 則子 氏(大阪公立大学 教授)

コーディネーター 東根 ちよ 氏(大阪公立大学 准教授)

15:50-16:45 シンポジウム「家庭で子育てから、社会で子育てへ」

シンポジスト 佳山 奈央 氏(おやこの世界をひろげるサードプレイス「PORTO」代表)

田崎 由佳 氏(やんちゃまファミリー with 理事長)

コメンテーター 山本 真実 氏(東洋英和女学院大学教授)

コーディネーター 木曾 陽子 氏(大阪公立大学 准教授)

17:00-18:10 シンポジウム「地域における非行少年の育ちなおし」

シンポジスト 武藤 亜以 氏 (児童自立支援施設:  
神戸市立若葉学園)

沼田 好司 氏 (法務省コレワーク中  
部&元瀬戸少年院)

黒川 洋司 氏 (良心塾代表取締役)

コメンテーター 掛川 直之 氏 (立教大学准教授)

コーディネーター 伊藤 嘉余子 氏 (大阪公立大学  
教授)

18:30-20:00 情報交換会 (懇親会) …大阪公立大学生  
協食堂 (予定)

### 【大会申し込み】

#### 参加費

会員 事前申し込み 4,000 円 当日参加 5,000 円 (不課  
税)

非会員 事前申し込み 5,000 円 当日参加 6,000 円 (税込)

大学生 事前申し込み・当日参加 1,000 円 (税込)

※高校生は参加費無料。

※大学院生は会員・非会員区分の料金。

#### 申し込み方法

大会専用ホームページ (<https://www.k-gakkai.jp/jscfw26/>) より、2025年3月25日(火)~5月13日(火)の期間に事前参加申込を行ってください。詳細はホームページでご確認ください。

#### 自由研究発表

大会専用ホームページ (<https://www.k-gakkai.jp/jscfw26/>) より、2025年3月25日(火)~4月18日(金)の期間に発表申込を行ってください。発表者は会員に限ります。学会入会申し込みの期限は4/18(厳守)です。自由研究発表の詳細については大会専用ホームページでご確認ください。

#### 高校生・大学生による発表申込

大会専用ホームページ (<https://www.k-gakkai.jp/jscfw26/>) より、2025年3月25日(火)~4月18日(金)の期間に発表申込を行ってください。

・発表者は高校生・大学生に限ります。会員でなくても発表可能です。

・個人参加から部活動、委員会、ゼミ単位での団体参加も可能です。

・大会参加費は高校生無料、大学生1,000円です。大会参加申し込みをお願いします。

・募集要項をご確認の上、下記の電子メール宛にお申し込みください。

・日本子ども家庭福祉学会第26回全国大会運営事務局 高校生・大学生担当

E-mail: student.kodomokatei26@gmail.com [ @は半角にして下さい ]

※ご応募頂いたのち、企画当日に向けた準備等について、本企画事務局よりご連絡させていただきます。

## 2024年度民間団体活動推進調査 研究事業の公募結果

2024年9月~2025年1月末日の期間に、本事業の申請を受け付けました。第1種事業には1件の応募がありましたが、理事による審査の結果、助成は見送ることとなりました。第2種事業には1件の応募があり、審査の結果、助成先として、宮本 和武会員 (社会福祉法人 基督教児童福祉会バット博士記念ホーム) の「法人型ファミリーホームの実態調査」(助成額700,000円) が決定されました。研究期間は、2025年4月1日から2026年3月末日の1年間で、2026年6月に開催予定の全国大会にて事業報告をしていただく予定です。

## 2024年度日本子ども家庭福祉学会 第3回理事会議事録

場所: オンライン会議

日時: 2025年2月11日(火) 11:30-13:45

出席 (敬称略): 伊藤、山本 (真)、有村、上鹿渡、野口、藤岡、和田、川松、佐藤、石田 (記録)

欠席 (敬称略): 山本 (恒)

## I. 審議事項

### 1. 第26回全国大会の開催要綱案について

2025年6月7、8日(土、日)に開催される大阪公立大学での大会の開催要綱案について、資料に基づき伊藤会長より報告され、審議を行い、要綱を決定した。今後、メーリングリスト等で会員に周知していく。以下、附帯事項。

- ・Wi-fiの利用が可能であるため、配布資料等はペーパーレスで行う方向で検討。
- ・情報保障、託児については、大会校のできる範囲で前向きに検討していく。利用者負担を求めることもあり得る。
- ・自由研究発表者に関しては、会員であることが必要である。本理事会では、入会審査時期に合わせた審議をする方針のため、臨時入会審査は行わないことを確認した。未入会の状態で発表を希望する方については、4月の入会審査に間に合うよう周知し、手続きを求める(締切は4月18日(金)とする)。大会ホームページで周知するほか、会員メーリングリストでも周知する。

### 2. 2025年度第1回理事会について

2025年6月7日(土)に大阪公立大学の会場で対面開催することを決定した。

### 3. 2025年度通常総会について

全国大会に先立ち、2025年度通常総会を行う。大会も対面開催のため、同様に対面開催すること、ペーパーレスの総会を行うことを決定した。以下、附帯事項。

- ・通常総会を対面で開催できるよう、大会校に会場確保及びスケジュール作成(大会開会前30分程度)を依頼済み。
- ・今回の総会では、研究倫理ガイドラインの策定・施行とおよび遵守について説明するとともに、変更点に関する会員への周知も行う。
- ・議案書は、事前に理事会メーリングリストにて確認後、総会当日の理事会で最終確認を行う。その後、速やかに学会メーリングリストで議案書を配信し、総会会場では議案書を映しながら説明する。

### 4. 2024年度民間団体活動推進調査研究事業報告について

2024年度に助成した民間団体活動推進調査研究事業の報告会は、第26回大会において、前回大会と同様にランチセッション形式にて行うことを決定した。以下、附帯事項。

- ・発表時間は前回大会同様に10分程度で主要成果を発表し、5分程度で質疑応答を行う。
- ・司会進行は前回大会同様に特別企画担当理事が行う。
- ・報告要旨は大会要旨集には掲載せず、会場にて研究代表者が用意した資料を投影・配布する。その後、「学会通信」を用いて事業成果のポイントについて公表する。

### 5. 「2025年度民間団体活動推進調査研究事業」の審査について

第1種に1件、第2種に1件の応募があった。第1種の申請に関しては「民間団体活動」にあたらなとして審査対象外として扱い、第1種については採択なしで決定した。第2種については、研究の波及効果、予算の適切な使用について附帯意見をつけることで採択することを決定した。

### 6. 2024年度事業報告及び2025年度事業計画(案)作成に向けて(資料I-6)

資料に基づき、審議し、承認された。

### 7. 日本子ども家庭福祉学会研究倫理ガイドライン策定・施行等について(資料I-7-①、②)

2024年9月25日に研究倫理ガイドライン策定委員会を開催し、骨子案をとりまとめた。その後、骨子案について理事会に報告して意見を受けた後、12月16日に開催した研究倫理ガイドライン策定委員会にてガイドラインについて最終案をとりまとめた。この最終案について審議され、承認された(2025年4月1日施行)。また、これを受けて機関誌「子ども家庭福祉学会」執筆要項の改訂についても審議され、承認された。以下、附帯事項。

- ・相談窓口の設置について進めていく。
- ・学会ホームページ、会員のメーリングリスト、総会

で会員に周知する。

8. 国際文献社との基本契約の更新について

基本契約書は自動更新で覚書についても変更と見込んでいるが、今後、国際文献社から変更の提案などがあれば臨時理事会で審議することが確認された。

9. 第27回全国大会について

伊藤会長より打診を行い、学内調整が必要であるが内諾されたことが報告された。開催テーマは大会校に委ねることを基本とするが、事前に理事会や会員からの意見があれば大会校に伝えることが確認された。

10. 入会審査について

2024年度2月分の入会審査資料に基づき審査を行い、4名と1法人の入会が承認された。

11. その他

2024年8月18日第2回理事会後、1件のメール審議、1件の事前協議を実施したほか、ガイドライン骨子案について報告した。審議は、2024年度10月分入会審査(11月7日原案通り承認)、事前協議は2024年度2月分入会審査についてである。

II 協議事項

特になし

III 報告事項

1. 編集委員会報告

- ・第25号について15本の投稿があった。今後、査読作業を進めていく。
- ・編集委員の任期や、編集委員による論文投稿があった場合の対応などを検討していく。

2. 広報関係報告

今年度は、慣例通り、事務局長が学会通信10月号(50号)を編集し、10月18日付で配信している。51号は、事務局次長が編集を担当し、年度内に配信予定である。学会通信についての要望は、特に寄せられていない。学会メールニュースは、前回理事会以降、学会の事業に関するものについて配信したほか、他学会や会員か

らの求めに応じて8件の情報提供を行った。

3. 会計関係報告

国際文献社からは定期的に支出報告をいただいております。財務担当を兼ねている事務局長が、その承認をしているところである。

4. その他

- ・10月28日に大学改革支援・学位授与機構より委員の推薦について依頼があった旨国際文献社より連絡があり、事務局にて内容を確認し理事会で検討したが、今回は推薦なしで回答を行った。

以上。

入退会者

2024年10月1日～2025年2月28日までの新入会員

浦 弘文	奈良市子どもセンター
平本 譲	鹿児島女子短期大学
須永 矢	東洋大学大学院
村田 裕子	日本社会事業大学
片山 寛信	北海道医療大学
佐藤 昭洋	東洋大学
平林 浩一	埼玉県西部福祉事務所
石田 龍太	関西学院大学

2024年10月1日～2025年2月28日までの退会者

なし

- ・2022年度からの長期未納者(2024年度末で自動退会となる者)は8名です(昨年度末の自動退会者は6名)。

- ・なお、2025年2月28日現在の会員数は565名です。

〈編集後記〉

- ・第26回全国大会の開催に向け、大会校の皆様にご尽力をいただいております。会員の皆様の参加をお待ちしております。なお、申し込みや自由研究発表など、詳細なお知らせは大会専用ホームページをご確認ください。
- ・2024年度年会費ご納入のお手続きはお済みでしょうか。まだお振込みいただいていない方は早めにお

手続きくださいますようお願いいたします。会費の納入状況は「マイページ」(<https://iap-jp.org/jscfw/mypage/User>)でご確認いただけます。パスワードのお問い合わせは、学会事務局にメールにてお願いいたします。

・会費の納入と併せまして、メーリングリストへのご

登録をお願いいたします。メールニュースも発信しておりますので、ご確認ください。登録しているのに情報が届かないなど、何かお気づきのことがありましたら、学会事務局までお問い合わせください。

・学会通信について何かご要望等がございましたら、ご遠慮なく学会事務局までご連絡ください。

日本子ども家庭福祉学会通信 第51号

発行日 2025年3月31日

発行人 伊藤 嘉余子

編集人 石田 慎二

発行 日本子ども家庭福祉学会事務局

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5

アカデミーセンター (株) 国際文献社

Tel: 03-6824-9371 Fax: 03-5227-8631

e-mail jscfw-post@as.bunken.co.jp